



イマジン
ロータリー

国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ

クラブ会報 **なんと**



NO. 2586

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

写真撮影
写真同好会
高野
美会員



第2647例会 令和5年2月7日(火) 晴 9℃

- ◆点 鐘 12:30 古瀬喜八郎会長
- ◆司 会 谷村修基SAA
- ◆ソング 「君が代」「四つのテスト」



◆会長の時間 古瀬喜八郎会長
今日からこの例会場に移ることができました。お世話下さいました、福光会館、ふくみつ光房様に感謝いたします！富山銀行さんには長きに亘りお借りしてきましたこと感謝申し上げます。昨日、トルコ・シリアに大きな地震があり、マスコミでは大きく取り上げています。犠牲者の方々には心よりご冥福を祈りたいと思います。ロータリーでは、2月は「平和構築と紛争予防月間」で、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動をおこすために平和フェローシップ(奨学金)を通じて人材を育て、ネットワークを築いています

一春は来る一

まだ寒い日が続いていますが、暦の上での二月は「立春」を迎えるなど春の気配が感じられる時期でもあります。立春は、一年を二十四に区切った「二十四節気」の一番目で最も短い冬至と、昼夜の長さがほぼ同じになる春分との中間に当たります。また、茶摘みで有名な「八十八夜」や、台風のあたり日といわれる「二十日」などの起算日が立春です。先人達は、このような「二十四節気」や「雑節」などの季節の区切りを農耕などに役立てる一方、気持ちを新たに日々生活に張りを持たせることにも活かしてきました。改めて、私たちの暮らしに目を向けると様々な区切りがあります。例えば朝礼は、仕事に向かう意識に切り替える時間といえます。また帰宅時の「ただいま」という挨拶は家庭での時間に切り替わるスイッチになります。

日々の生活での切り替えを意識して、充実した時間を過ごしたいものです。
今日の心がけ◆気持ちの切り替えを意識しましょう

- ◆理事会及び幹事報告 石崎和三幹事
 - ①2/20の3クラブ合同懇親会は参加費10000円、会で3000円助成。個人負担は7000円。後日引落しします。
 - ②3/4のIM(都市連合会)…高岡商工ビルにて、登録料の8000円は各自負担でお願いします。送迎バス用意します。
 - ③新例会場の「サークルルーム1」は、月3万円円で借用(基本:時間貸し)。
 - ④不要となる扇風機は、木村農園から引取り希望があった。提供者の木勢会員の応諾を待ちたい。
 - ⑤35th全国RA研修会登録の案内。令5.3.25(土)・26(日)。於:金沢歌劇座、ホテル金沢…当地区RAがホスト(代表中田悠貴…南砺RAC=写真) **ロータリアンも参加しよう!**
 - ⑥砺波、高岡西、氷見中央のクラブより例会変更案内:別紙。
 - ⑦「ロータリー希望の風奨学金」は、東日本大震災で親を亡くした子供達を支援するため、チャリティーコンサート開催。3/10。来場、オンラインご視聴の登録料が支援に回ります。締切2/28。詳細別紙。



「夕焼けと医王山」

- ♣ 2月の誕生日祝
 - 木勢 博文君10日
 - 久患 龍三君24日(写真)
 - 川合 声一君24日(写真)
 - 本田 敏君24日
 - 古瀬喜八郎君28日(写真)
- ♥ 2月の結婚記念日
 - 尾山 裕和君7日、松本 敏博君22日(写真)、西村 孝君22日



◆委員会報告

- ◆広報雑誌川合委員長「友」2月号—平和構築と紛争予防月間—8~19P千葉康由さん(報道写真家)の紹介。世界には戦争、紛争が起きている地域がいくつもある。その状況を写真で見ると、人々は何を感じ、考えるか?それを伝える写真家をどうぞでてるか?ご一読ください。
- ◆55周年高野実行委員長 組織図でできましたので、今後それによって、55周年事業を進めていきますので、所属の委員会で、協力ください。6/10(土)記念例会を行います。



★ニコニコボックス 2/7 谷村賢治委員長

- 古瀬君 今日から新しい例会場を提供下さいました、ふくみつ光房様に感謝!
- 石崎和君 例会場、福光会館での初陣です。なれない事も出てくると思いますが、記念すべき日になりました。
- 野村君 本日、卓話担当です。宜しくお願いします。
- 岡部君 新しい例会場で今日から又、始まります。
- 荒井君 会長、幹事、久患特任委員長、引越し心身共にお疲れ様でした。濃厚接触者の皆様、会員の皆様一致団結ご苦労様でした。本田さんが30kgを超える荷物をヒョイとかついで4階から1階まで一直線、頼もしい限りです。
- 川合君 引越しに不参加でした。当日JR西日本本社や東京の外国人観光関係の事務局を訪問、南砺へのインバウンドについてPRしてきました。
- 船藤君 本年初の出席です。本年もよろしくお祈りします。古希になりました。
- 松本君 新しい例会場のスタートです。気を新たに!!引越しのお手伝いできず、すみませんでした。立派な会場で感激です。
- 澤田君 孟母三遷(もうばさんせん)の故事に倣って、例会場(すまい)が変わって、ロータリーの目指すべきところに少しでも近づければ幸いです。
- 牧君 新例会場に出席して。
- 中田君 新例会場、気持ちも新たに。個人的には徒歩一分ほどで到着できますので、大変便利です。
- 久患君 今日から新例会場での例会、身も心も引締まる思いです。
- 森雄君 引越して初めての例会です。事務局の負担は減ったのか?増えたのか? 館田さん、いかがでしょう?
- 谷村賢君 新しい例会場です。ちょっと密なところが良いですネ。

本日のプログラム 2月14日(火) 第2648回例会

卓話 担当 榎 祐人会員

◆出席報告 松本敏博委員長

会員数	2月7出席率	1月24日(修正)
44 (免除2)	63.63% (出28)	71.42% (出30 内メーク0)

次回の予定 2月20日(月) 第2649回例会
3クラブ合同例会・懇親会 TONAMI 翔凜館
担当 古瀬喜八郎会長



会長・幹事と相談の上で「国際奉仕」のことではないお話をさせていただきます。2020年の米大統領選挙ですが、トランプの人気がとてつもなく凄かったので、どこまで勝つのだろうと開票日はずっとネットで開票を見ていました。日本時間で22時頃まではどこもトランプがリードしていたのですが、ミシガン州やウィスコンシン州、アリゾナ州、とりわけ民主党が州知事のところで終了寸前にバイデンが突然票を伸ばして勝利していく様子を、「まじか！なんじゃこら？」と呆然していました(バイデン・ジャンプと呼ばれている)。不人気のバイデンが史上最多得票など信じられるわけがない。以前から言われていた不正選挙が行われたのだと、翌日からネットで調べる日々。集計器「ドミニオン」、郵便投票でいかにげんな投票等々。民主主義のお手本だと思っていた米国でなぜ？米の政治はどのように変遷してきたのか勉強する機会を得ました。

1928年、米国から「世界大恐慌」が始まり世界中は大混乱に陥りました。3年間で世界のGDP▲15%。草の根保守フーバー大統領も打つ手もなく支持率が低下。1933年に民主党フランクリン・ルーズベルト大統領が誕生。戦時・有事を理由に4期12年の長期政権となった(日本にとって不幸の始まり)。教科書には「ニューディール政策」によって米は復活などと書かれていた記憶があるが、内容は「社会主義的」な政策を打ち、連邦政府は肥大化、増税させただけ。「ニューディーラー」と呼ばれるリベラル官僚を3倍の950万人に増やしていったのです。いわゆる「大きな政府」。お金をばらまいて大きくなっていった今の民主党の始まりだと思っています。(ルーズベルトは日本を戦争に追い込んだ張本人、ルーズベルト史観打破は必須だと思っています。)

米の政治思想のひとつにNeo Conservatism「新保守主義」というのがあります。一見保守派に見えるが実は元共産主義者や社会主義者=ネオコンで、多くが民主党へ入って行きました。1960年代に入ると、アフリカ系アメリカ人の公民権運動、ベトナム戦争反対運動、ウーマンリブ運動が盛んになり、この新左翼の多くが民主党へ入っていき、民主党は大きく「左傾化」。そんな連中とは「やっぺられぬ」とネオコン思想を持つ民主党員は共和党へと移動して行きます。

1980年代には東西冷戦が終息に向かい、世界は1つという「グローバリズム」思想が台頭。世界各国の経済規制を撤廃し、国境を越えて世界の市場の中で多国籍企業が大きな利益を上げていく。とりわけ軍需産業ですが、それを正当化していく思想です。共和党の中でも、伝統的保守「草の根保守」と「ネオコン・グローバリストの保守」に分裂して行きます。1981年には「草の根保守」であるレーガン大統領が誕生します。

各大統領が何をしていたか見えます。ロナルド・レーガンはソ連を悪の帝国と呼びながら、ソ連崩壊へと導きました。次のジョージ・ブッシュ(1989-1993)はネオコン(だと思っている)で、滅茶苦茶な理由にて1991年湾岸戦争でイラクを叩きます。日本は自衛隊を出せないで、1兆8000億円を抛出、増税で賄う(世界からはバカにされる)。続くビル・クリントン(1993-2001)が8年間。このあとネオコンの頭、ジョージ・ウォーカー・ブッシュ(2001-2009)が出てきますが、この頃より、米国は圧倒的で世界一の超大国、米国の自由と民主主義システムは最高、独裁国家や社会主義国家のレジューム・チェンジ実行が米国の使命であるといった考え方が支配するようになりました。

ブッシュJr時代は、副大統領もネオコン大物のディック・チェイニーであり、戦争やりたい放題。軍需産業大儲け。いわばネオコンの絶頂期。2001/09/11後のアフガン侵攻、2003年3月イラク戦争等々。続くオバマ(2009-2017)。副大統領はジョー・バイデン、国務長官にはネオコンに近いとされるヒラリー・クリントン。「世界のテロリストを掃討する」と、アラブの春と呼ばれる数々のレジューム・チェンジを実行。有名なのは2012年のリビアのカダフィ大佐暗殺。シリアの政権崩壊のために「イスラム国」を作ったのもオバマと言われている。オバマはヒラリーを後継者にしたかったが失敗。トランプ大統領(2017-2021)の誕生となる。

トランプはイラク戦争を見て、こんな事をやっていたらダメだと大統領を目指したと言われているが、当初泡沫候補だった不動産王トランプがなぜ予備選で勝ったのか？(当時、変わり者だと日本でも報道されていた。)最有力候補ブッシュJrの弟ジェブ・ブッシュとの公開討論会での出来事から逆転したと言われている。9・11直後、全米では飛行禁止命令が出されていたにも関わらず、ウサマ・ビン・ラディンの家族24人が当時滞在していた、ロスアンゼルス、ボストン、ヒューストン、ワシントンDCなど計10カ所に、ブッシュJr大統領の要請でプライベートジェット機が迎えに行き、サウジまで護送していたことをトランプは指摘したのだ。ジェブ・ブッシュは絶句し何も答えられなかったという。これ以来、トランプはブッシュ家、ネオコンの絶対的な敵となった。その後、ブッシュJr政権はサウジにおける数十億ドルの軍事設備の契約を結ぶことになる(わかりやすいブッシュJr)。

2015年共和党予備選
ドナルド・トランプVSジェブ・ブッシュ



トランプは大統領になってからは、不法移民を減らし、雇用を増やし、米国を石油ガス輸出国にする等大きな成果をあげた(一度も戦争していない)が、グローバリストやネオコン、大手リベラルメディアとの闘いが続けられた(記者会見でCNNらに対しフェイクニュースだと言っていたトランプが懐かしい)。身内であるはずの連邦政府上級行政官や、日本の政治家も喜んで参加している世界経済フォーラム(ダボス会議)に対しても、日本の自動車産業叩きとしか思えない「脱炭素政策」などは、選挙で選ばれてもいないグローバリスト達の会議により世界の方向性が決められていくのだ。トランプは一度も参加していない。



このような事が報道されないのはなぜか。マスコミは全て左翼的で民主党寄りであり、日本のマスコミは全て提携しているマスコミの垂れ流しをしているだけだからだ。

トランプが掲げた「MAKE AMERICA GREAT AGAIN(米国を再び偉大にする)」いわゆる「MAGA運動」とは何なのか？オバマ政権の掲げた「Fundamentally Transform America(米国を根本から作り直す)」と対比することで、トランプが目指していたものが見えてくる。トランプはレーガンの後継者だと多くの識者に位置付けられている。MAGAはレーガンの選挙スローガン。反共だったレーガンは愛国心にあふれ、米国を「丘の上の輝く街」であるべきと国民を鼓舞。2期8年間で強い米国を取り戻し、米ソ冷戦を終結させた。

トランプ前政権オバマが行っていた政策は、正に「分断統治」。少数派を扇動して、多数派を攻撃させる。性別、人種等多岐に渡って、「差別」を訴えて米国を分断していった。岸田総理(はやく辞めて欲しい)もLGBTQ法案を作ると今日の報道にもあったが、いわゆるポリコレもオバマが推進したのだ。一例だが、敬虔なクリスチアンのケーキ屋さんに、LGBTのカップルがウェディングケーキを頼みに来たが、信仰上とても心苦しいが申し訳ないと断った。これは差別だとマスコミは大騒ぎ。裁判、閉店に至るといったことが起きた。そして同様な事件や裁判が多発した。「メリークリスマス」もキリスト教徒以外への配慮が欠けていると禁止。「メリークリスマス」の代わりに「ハッピーホリデー」。

2020年大統領選挙前にBLM(ブラック・ライブス・マター)、アンチファが暴動を起こしていたが、民主党支持者とほぼ重なるのだ(だから大阪なおみは好きになれない)アメリカを分断して、オバマ政権は何をしたかったのだろうか。両親や家庭教師が共産党員だったオバマは、米国の信仰心無き、社会主義国にしたかったのではないか。(日本でいえば皇室を忌み嫌う辻本清美議員が8年間、総理大臣だった感じだろうか。)

トランプは米建国精神である「神の下でのひとつの国家」を目指していた。就任後は信仰の自由を保障する大統領令に署名。「メリークリスマス」も復活させた。「建国精神、キリスト教への攻撃でアメリカを破壊」に対し、トランプは「建国精神、キリスト教精神を呼び覚ますことでアメリカの復活」を主張しているのだ。日本のメディアはこの辺を全く報道しないので、我々が理解できないのは当然かもしれない。

2021年1月米国議事堂襲撃事件の後、ツイッターはじめSNS各社がトランプのアカウントを永久凍結した。昨年末、イーロン・マスクがツイッターを買収したあと、この時が起きていたかを「ツイッターファイル」として発表し暴露している。現在No16まで出ているが、民主党関係者だけでなく、FBIまでもがトランプ関係者に対し、組織的検閲をしていたことが明るみになった。2022年行われた中間選挙下院で共和党が多数派になったことから、ジョー・バイデン、息子ハンター・バイデンの悪行が暴かれ大変なことになっていくと思う。TV新聞だけ見ていてはこのようなことは報道されないのを知りえない。ネットメディアを通じて真実を知ってほしい。※トランプは9.11の真相をいづれ暴くと公言していた。ブッシュ家、ネオコンは再選阻止に必死だったと思われる。来年、トランプ復活を願う。()内ではつぶやきを入れました(〇)。

